

シンポジウム Lay Participation Worldwide

—世界の市民の司法参加における日本の裁判員制度

2019年3月2日（土）14—17時 専修大学神田校舎5号館551教室

ニコライ・コバレフ先生の訪日に合わせて、ご専門の旧ソ連邦、ロシア、カナダにおける刑事司法への市民参加の展開についてご報告いただきます。

その後、日本の研究者、弁護士と裁判員経験者を交えたパネルディスカッションで、裁判員制度の実施10年を機にその国際的位置づけを検討します。



ニコライ・コバレフ

（ウィルフリッド・ローリエ大学、カナダ）

旧ソ連邦、ロシア、カナダの刑事司法制度や陪審制度に関する書籍、論考、報告多数。初来日。



平山真理（白鷗大学）

パネリスト

刑事訴訟法・刑事政策を専攻し、性犯罪事件の裁判員裁判などに関する国内外の論考、報告多数。



富田さとこ（日本司法支援センター、弁護士）

パネリスト

法テラス沖縄勤務時代に、裁判員裁判の弁護を複数回担当。アメリカ大学院で刑事政策を履修。



澤田敦子（裁判員経験者）

パネリスト

2018年に東京地裁で性犯罪事件の裁判を担当。

飯考行（専修大学）

企画趣旨説明、コーディネーター

法社会学を専攻し、裁判員ラウンジを開催。

主催：専修大学法学研究所、日本法社会学会関東研究支部、裁判員ラウンジ

公開、入場無料、事前申込不要、コバレフ先生の報告等（英語）は通訳あり

問い合わせ：飯考行（東京都千代田区神田神保町3-8 専修大学法学部、iit@isc.senshu-u.ac.jp）

*3月16日（土）14—17時は、専修大学神田校舎5号館571教室にて、裁判員ラウンジ（以下はウェブサイトアドレス）の拡大版を開催予定です。あわせてご来場下さい。
<http://www.saibanhou.com/lounge.html>



専修大学神田校舎
5号館